

「お正月に遠くの山を望む(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

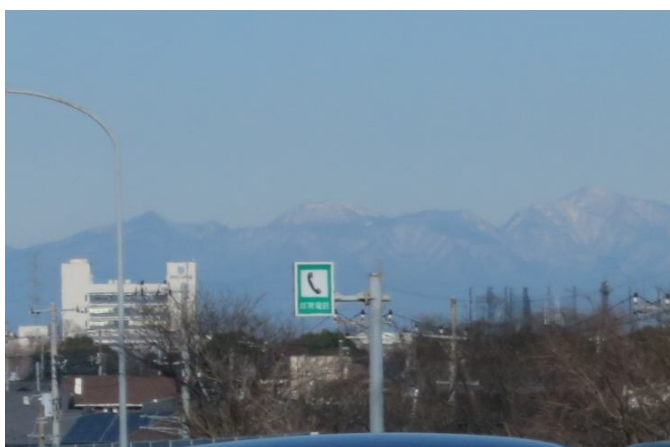
田中 千尋 Chihiro Tanaka

関東平野は山に囲まれている。丹沢から時計回りに見ると、道志山塊、その向こうに富士山、奥多摩、小金沢連嶺(こがねさわれんれい)、奥多摩、奥武蔵、奥秩父、両神山、浅間山、榛名火山、谷川山塊、赤城山、奥日光、男体山、そして筑波山・・・いずれも東京都内の高層ビルや展望塔からも見える山々である。

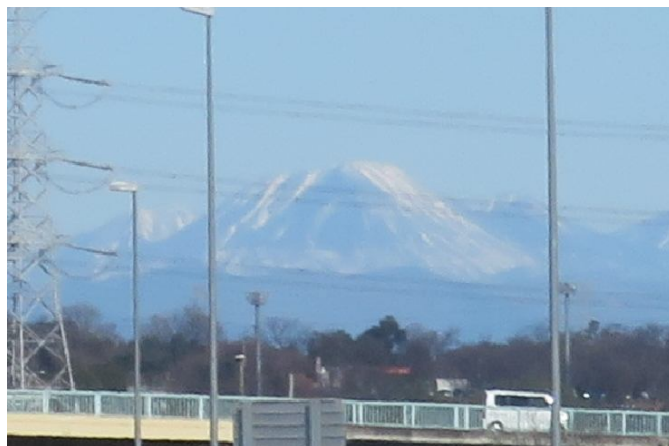
関越自動車道は、関東平野を斜めに横切っているの
で、上記の山の多くを見ることができる。



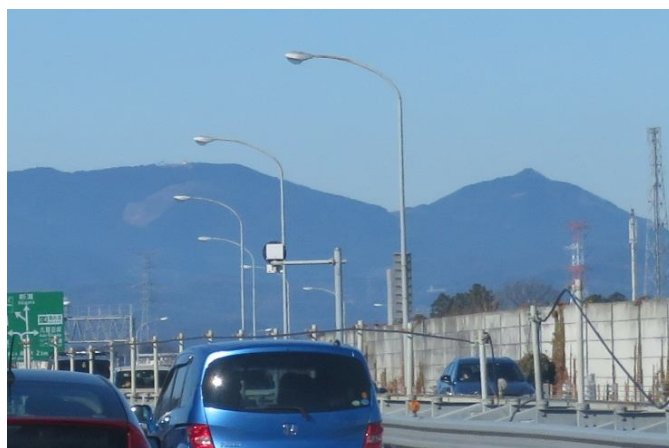
この日は下り線が混んでいて、時々渋滞に巻き込まれた。しかし、遠くに山が見えたので飽きることはなかった。写真は上越国境(群馬と新潟の県境)の山脈である。日本有数の豪雪地帯の山なので、真っ白になっている。



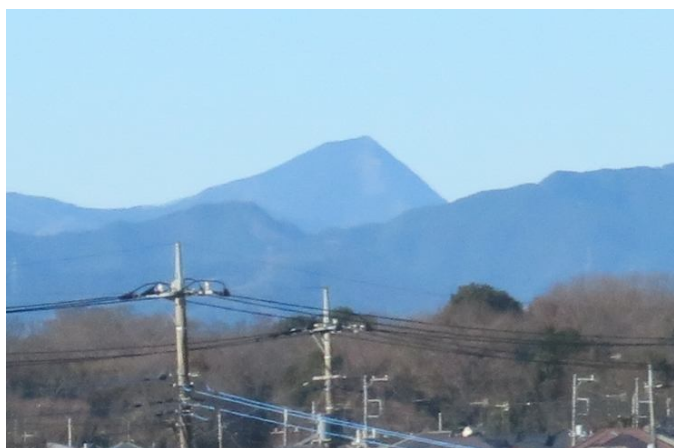
これは赤城山である。上越国境から遠いので、空っ風の領域にあり、1月に入っても雪は少ない。それぞれの隆起に山名がついているが、よくわからない。



日光連山の右端あたりに見える、富士山型の山は「男体山」である。手前の足尾山地よりもずっと標高が高く、均整のとれた山容なので、この山を見間違えることはない。



高坂SAの手前に見える「笠」のような山は、「笠山」である。小川三山の一つで「か」にアクセントがある。その左の平らな山頂の山は「堂平」で、山頂に旧東京天文台のドームが見える。



関東山地の向こう側に見える、ピラミッド型の山は「武甲山」だ。セメントの原料の石灰岩の採掘で、人為的に形が変わってしまった、珍しい経歴の山だ。そんなことも知っているのと、ドライブも楽しい。